

# 台風の影響も重なり依然として停滞感が続く

## 8月の業界WEATHER

全業種平均



前年同月比

### 概況

相次ぐ台風の上陸による客足減少や、売上低調、受注の低下等で依然停滞感が続く。経営難を強いられる企業や廃業する企業が見受けられる一方で、人手不足感が強まる企業もあり課題が山積している。

製造業	食料品		パンは小規模ベーカリーが天候の影響により集客に苦戦している。製麺は素麺や冷麦等の夏用商材が好調となるも、依然取引先からの値下げ圧力等により厳しい状況が続く。酒造は普通酒及び本醸造酒が大きく落ち込む。
	繊維・同製品		桐生織物は和装織物が春夏物と秋冬物の端境期により低調となる。繊維製品は円高の影響で取引先が仕入先を海外にシフトしていることに伴い受注が減少している。レースは人材育成を強化し、技術力・付加価値の向上を目指す。
	窯業・土石製品		生コンは前橋や高崎等の県央地域が他地域に比べ好調となる。コンクリートブロックは業界における高齢者の離職増加により、人手不足感が強まる。コンクリート製品は各社とも受注が減少し、工場の稼働率が停滞気味である。
	機械・金属		富士重工関連は新型車関連の製造等により好況感が続く中、若年層を中心に人手不足感が高まる。一方、上半期を迎え在庫調整による生産の手控えが見られる。鍍金は生産増も、人手不足に苦慮している。
	その他の製造業		紙加工品は各社とも軒並み悪化傾向で、コストダウン要請等の厳しい状況が依然として続く。印刷は大規模事業者が堅調を維持する一方で、中小企業等は経営難に直面し、廃業する小規模事業者も散見される。
非製造業	卸売業		高崎卸は組員各社の新卒者採用状況がいまひとつである。食料品卸は円高で原材料の仕入れコストが低下し、業績の改善が進む。農産物卸は夏野菜全般が順調な出荷も、台風の影響による今後の価格高騰を危惧している。
	小売業		燃料小売は元売の経営統合の動きが本格化しており、今後の動向を注視している。中古車オークションは出品台数が横ばいも成約率は減少傾向にある。商店街は夏物商戦が苦戦する中、台風の影響で人通りも少ない。
	サービス業		温泉旅館は群馬プレミアム宿泊券による恩恵がなく、各旅館とも苦戦している。不動産取引は住居用・事業用を問わず、築年数の経過した物件の需要が低下している。建物設計は空き家の利活用の動きが強まり、今後積極的な関わりが不可欠になる。
	建設業		電気工事は売電単価見直し等の影響で、太陽光発電関連工事の受注がやや減少している。塗装工事は大型物件の受注は依然少ないものの、住宅の塗り替えが若干増加している。鉄構は全般的には横ばいも工場間の格差が広がっている。
	運輸業		夏季休暇や台風による天候不順等の影響により荷動きは鈍くなり、今後、一定の荷量確保が懸念される。小型運送は受注件数が増加となるも、売上高は減少となり、特に自動車部品関係の輸送が落ち込む。

※本調査は、情報連絡員56人が所属する組合の全体的な景況（前年同月比）です。

### 県内の主な経済指標

- 鉱工業生産指数(季節調整値) 109.7(前月比+0.2%)「県統計課・7月」
- 住宅着工戸数 1,232戸(前年同月比+9.2%)「県建築住宅課・7月」

- 求人倍率(季節調整値) 新規2.19倍:有効1.46倍「群馬労働局・7月」
- 大型小売店 販売額 204億円(前年同月比+2.0%)「経済産業省・7月」
- 消費者物価指数(全国) 99.5(前年同月比▲0.7%)「総務省統計局・7月」  
(鉱工業生産指数・消費者物価指数は22年=100とした指数)